様式３(2015.06改)

作成日　令和元年１１月２８日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394800052
事業所名	グループホーム　ファミリアおおくて

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、町内会長自らが広報誌を持って地域行事の参加要請に訪れている。地域の夏祭り等の地域行事に利用者が参加するときには、利用者のための席が用意されている。 漫談ショーのボランティアが毎月訪れており、漫談のほか、三味線、オカリナ、腹話術、バルーンアートなど、多彩な芸を披露して利用者を楽しませてくれる。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	毎奇数月に運営推進会議を開催し、年間6回の開催である。 会議への参加を家族に呼び掛けてはいるが、会議が平日に開催されるために家族の参加は少ない。 ホームから運営状況が報告され、引き続いて参加メンバーによる意見交換が行われている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	度々の台風による避難を経験している。近くの河川の氾濫の恐れがあるときには、市の防災課や消防署から適切な情報伝達や避難の指示がある。避難が必要となったときには、消防署がマイクロバスで利用者を避難場所まで運んでくれる。 運営推進会議には、毎回市の担当者が出席しており、生活保護受給者が入居することから、市の社会福祉課とも連携を図っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	遠方の家族のホーム訪問が少ないため、管理者・職員は電話を密にかけて利用者の情報を伝え、家族の意見や要望を収集している。 毎月発行の「ファミリアおおくて通信」によって、ホームの取り組みや利用者の日々の様子を家族に伝えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

① 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

② 運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④ 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ① 運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ① 家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	－	－	－	○	○	○	○	○	◎